



# ハチドリ

令和元年8月27日  
気仙沼市立大谷中学校  
気仙沼市本吉町三島 60-4  
TEL 44-2004  
FAX 44-3742  
はゆね・はやおき・あさごはん

## PTA奉仕作業

8月24日(土) PTA小中奉仕作業が行われました。残暑厳しい中、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、除草作業をしていただきました。おかげさまで、グラウンドが大変きれいになり、気持ちよく運動会を迎えられます。ありがとうございました。



## 運動会

一昨年までは仮設グラウンドで実施していた運動会。昨年からは校庭で実施できるようになりました。各競技とも、夏休み明けから準備と練習に取り組んできました。よさこいは3年生が夏休み返上で振り付けを考えました。今年も紅白対抗で演舞しますのでご期待下さい。全力で競技する子ども達に是非とも熱いご声援をお願いします。



3年白組の練習風景

### 令和元年度 大谷中学校運動会

期 日：8月31日(土) 9:00~14:00(予定)  
※ 雨天時は9/1(日)または9/2(月)に延期  
(延期の場合は、マチコミメールで連絡します)  
場 所：大谷中学校 校庭  
運動会テーマ：～青春の風に乗って～



3年紅組の練習風景



女子ソフトテニス部 気仙沼地方中学生ソフトテニス大会 第3位

## 主な行事予定

9月	10月
1日 運動会予備日	1日 衣替え, はせづくり
2日 振替休業日	4日 稲刈り
3日 朝会(駅伝壮行式), 各種・中央委員会	5日 英語検定, 市民運動会準備
5日 地区駅伝大会(4時限, 選手以外は12:10下校)	6日 市民運動会
6日 地区駅伝大会報告会(弁当)	7日 朝会, 稲刈り予備日
9日 朝会	8日 本吉地方弁論大会
10日 本吉地方英語暗唱・弁論大会	11日 青少年劇場(ビバ! ムジカ)
11日 少年の主張本吉大会(大谷中会場)	15日 朝会
17日 朝会, フリー参観(~20日)	17日 市内音楽祭
18日 乳幼児親子の学校訪問(3年)	18日 学習発表会準備(弁当)
19日 新人大会壮行式	19日 学習発表会(弁当)
21~22日 地区新人大会, 3年実力テスト	20日 振替休業日(大谷小学習発表会)
24日 振替休業日	21日 振替休業日
25日 振替休業日	22日 休日(即位礼正殿の儀の行われる日)
28日 新人大会報告会	24日 海洋キャリア教育セミナー(全校)(弁当)
29日 オリンピアン講話(全校)	25日 3年実力テスト, 進路説明会
30日 各種・中央委員会(前期最終)	28日 生徒集会, 各種・中央委員会
	29日 大谷小6年生授業見学



大谷中キャラクター  
「マンバイ」

## 「PTA会長のたわいもないひとりごと」

絆 ～運動会・駅伝大会・学習発表会に向けて～

大谷中学校PTA会長 遠藤 典明

運動会・駅伝大会・学習発表会は大谷中生の団結力が発揮され、大谷中生相互の『絆』が深まる大切な行事です！

「令和」初の学校行事となりますが、3年生にとっては最後の中学校行事。大谷中生だけではなく、先生、PTA会員が一致団結し、絆を深め、大谷中学校を盛り上げて行きましょう！

『絆』は相手がいなければ深められないもの。すぐには強められないもの。

『絆』は苦難を相手と乗り越えると強まるもの。仲間と乗り越えると築けられるもの。

『絆』は気付くもの。相手への思いやりで深められるもの。

(前文省略)

絆(きずな)の語源は？

もともとは馬などの動物をつないでおく綱のことを言い、平安時代の和名抄という辞書にも出てくる言葉だそうです。動物が離れないようにつなぎとめるという意味が家族や夫婦、子どもなど、人同士の密接な結びつきをさすようになった訳です。

きずなとほだしは読み方で意味が異なる

絆の別の読み方である『ほだし』の意味を調べてみると、面白いことがわかりました。

『きずな』が人と人の断つことのできない結びつきを意味するのに対し、『ほだし』は以下の意味になります。

人の心や行動の自由を縛るもの。自由をさまたげるもの。手かせや足かせ

どちらも「結びつける」という意味を持ちますが、『ほだし』は束縛という意味合いが強く、ネガティブな言葉です。ところが、『きずな』になると、一転してヒューマンでポジティブな言葉となります。(中略)考えてみれば、両者は表裏一体でもあります。

たとえば、親子の絆。親は『きずな』と思って愛情を注いでも、子どもは『ほだし(束縛)』だと思っているかもしれない。そうした心のすれ違いって案外あるんじゃないでしょうか？

『絆』の漢字はなぜ「糸」+「半」？

絆は糸偏に半と書きます。(中略)そんな中で、面白い説を見つけました。

人と人を結ぶ糸はどちらかが強く引っ張りすぎると、切れてしまう。

つまり、お互いが均等に半分ずつの力で引き合うことで、『絆(きずな)』が保たれるというものです。

(以下省略)

[インターネット トレンドキャッチ「絆(きずな)の語源と由来は？思わず人に話したくなる秘められた話」

<http://trendcatch.info/?p=3588>より引用]

強い絆(太い糸)だから切れないと思って、強く引っ張ってしまうと、相手の自由をさまたげてしまい、『きずな』が『ほだし(束縛)』になってしまいます。

相手の気持ちも考えながら、絆を深めあいましょう。